

9月17日から18日未明にかけての台風18号は、日本列島を縦断して行きましたが、本村では大きな災害は発生せず安堵しています。それでもトマト栽培のビニールハウス被害、住家の鋼板葺屋根がめくれ上がる破損、倒木などが数箇所が発生しました。被られた皆様には心からお見舞い申し上げます。また、早々に散乱した枝葉の清掃等に御協力いただいた皆様には厚く御礼申し上げます。

9月は敬老の月、百歳を越えられた方と米寿を迎えられた皆様を訪問し、長寿をお祝いしてまいりました。今年は米寿のお祝いが22人、百歳以上が3人となりました。現役で鮎釣りや農作業をこなしてみえる方もあり、お祝いに伺ったのですが、こちらが元気を頂いてまいりました。いつまでもお健やかにと祈るばかりであります。

9月11日から開催された第3回村議会定例会では平成28年度の決算について審議いただき、認定を受けましたのでその内容について少し説明させていただきます。

平成28年度は東白川版地方創生総合戦略に基づいて事業を推進した一年間でありました。

防災・安全対策では、消防ポンプ自動車と小型動力ポンプの更新、越原上地区に続いて親田地区に臨時離着陸場（ヘリポート）を整備するとともに引き続き防災用備蓄倉庫の充実に努めました。

産業振興では、地方創生の加速化交付金を活用して「みよりの郷東白川(株)」が発足し、農業サポート事業を「(有)新世紀工房」から継承して事業をスタートさせるとともに、めぐみの農協の協力を得てライスセンターの機器の更新を行い、本年から新しい施設での事業を始めることができました。

商工振興では、プレミアム商品券の発行の支援やつちのこメンバーズカード事業で地域商業の応援を実施。また、地方創生事業で国の交付金を活用し「つちのこマルシェ事業」や農産物の都市での販売体制の構築をめざし「フォレストスタイル事業」と合わせて地域振興策を講じてまいりました。

定住促進策では、I・Uターン者の定住促進策として中通地区に集合型村営住宅を建設しました。

教育や人づくりの面では、小学校の運動場整備工事が完成。また「はなのき会館」の大規模改修工事の第1期工事を実施。ハナノキ別館の照明、空調、トイレ等の整備を行ないました。

この他、ふるさと納税の寄付金額が3,000万円を越えたのも特記すべきことです。寄付金を活用して中川原水辺公園に、子育て中のお母さん方の要望で児童用の遊具を整備することができました。また、還元記念品として絵のベンチやお米などで2,370万円余の地場産品が販売できたことにもなり、成果と捉えております。

福祉政策では、神土の交流サロンに続いて五加地区に交流サロンを整備し活用が始まっています。また、医療福祉ゾーン整備計画の検討を進め、2月には集落座談会において各地域で説明を行い様々なご意見を承り、これを基に29年度に入ってから議会や建設委員会で丁寧に計画を作り上げていきます。

全ての事業を紹介したわけではありませんが、限られた予算で効率的な行財政運営ができましたことは、ひとえに村民の皆様と村内諸団体のご理解、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。御報告とさせていただきます。

平成28年10月1日

東白川村長 今井俊郎